

リュツォ・ホルム湾の海氷状況について

2020年11月
国立極地研究所 南極観測センター

第61次越冬隊および国立極地研究所は、越冬期間中や第62次隊夏期の行動計画の参考とするため、衛星画像や昭和基地における目視・気象・潮汐観測によって、「しらせ」航路周辺や基地接岸点付近の海氷状況を監視している。

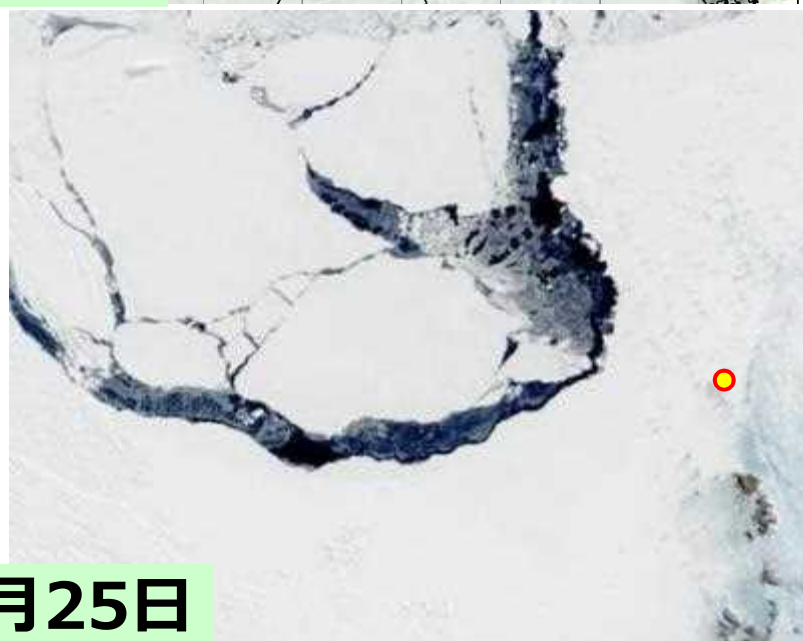
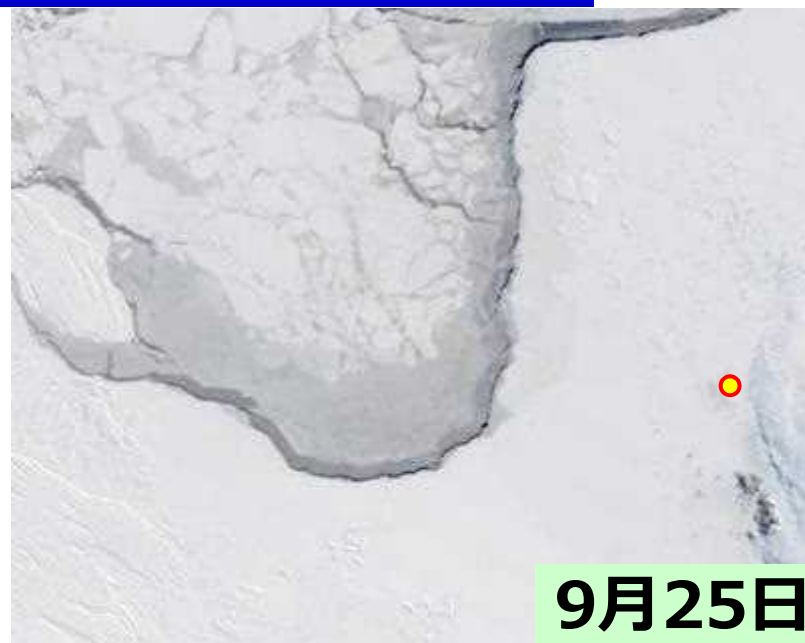
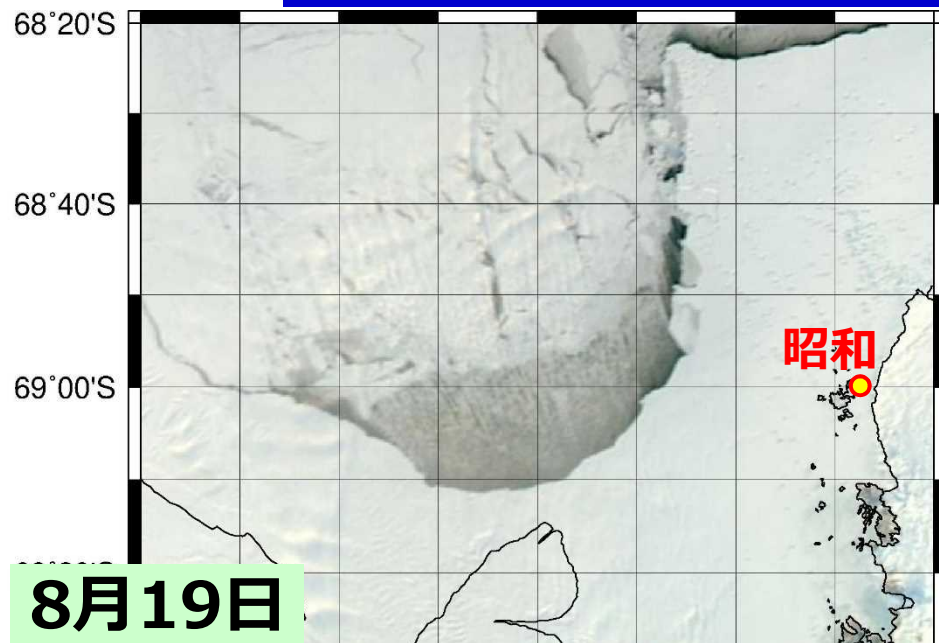
2020年2月以降の氷状の特徴

- 湾中央で割込んでいた領域は、5月下旬時点で凍結した。
- オングル海峡の開水面領域は、4月以降に凍結した。
- 昭和基地・北の浦海氷上の積雪深は、2月以降大きく増えていない。
- 10月上旬時点で湾内および基地周辺に割込み等の顕著な変化は見られない。

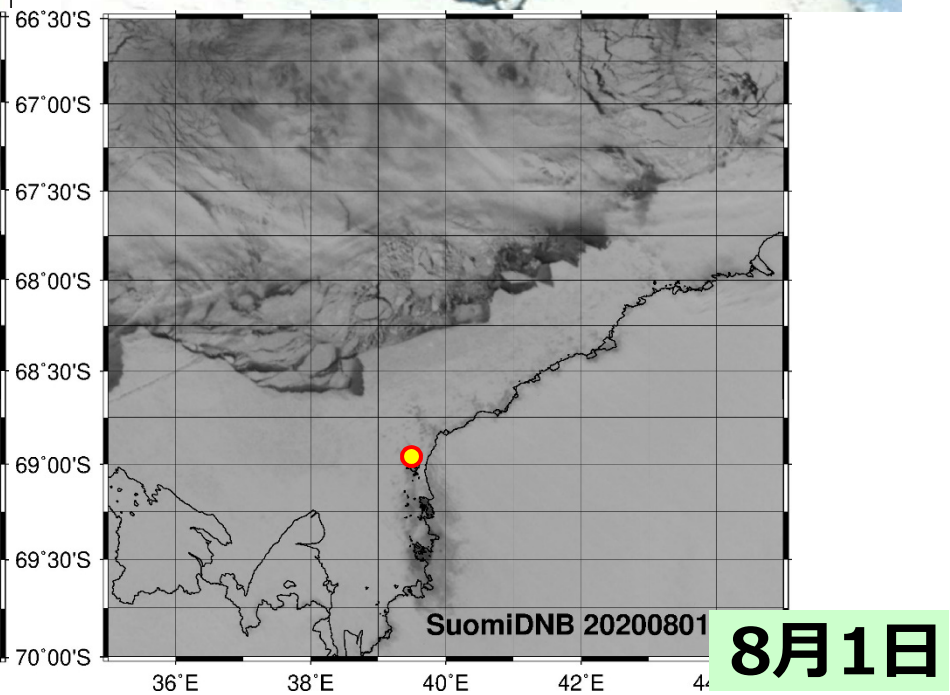
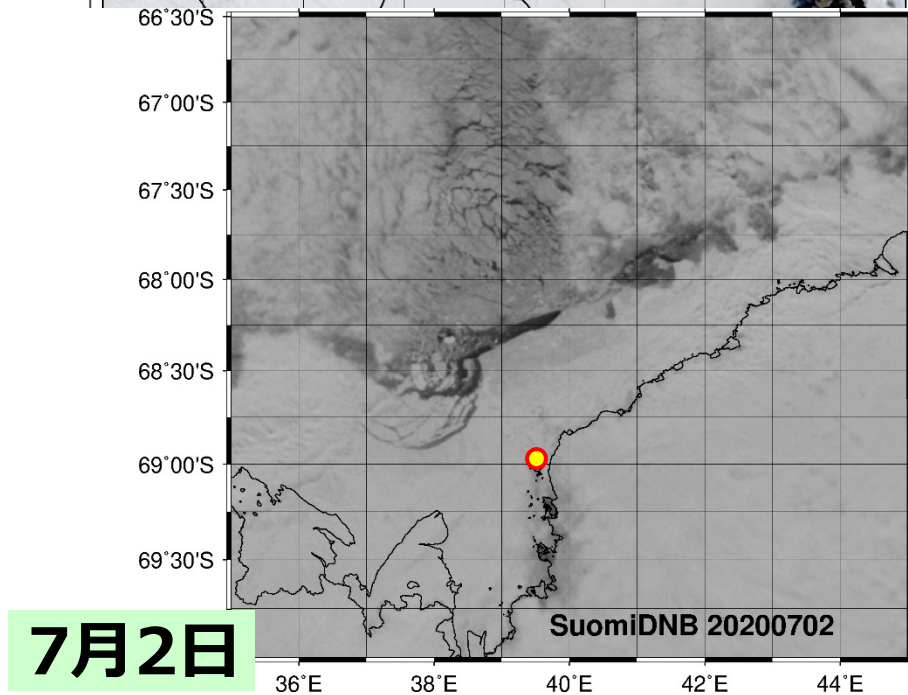
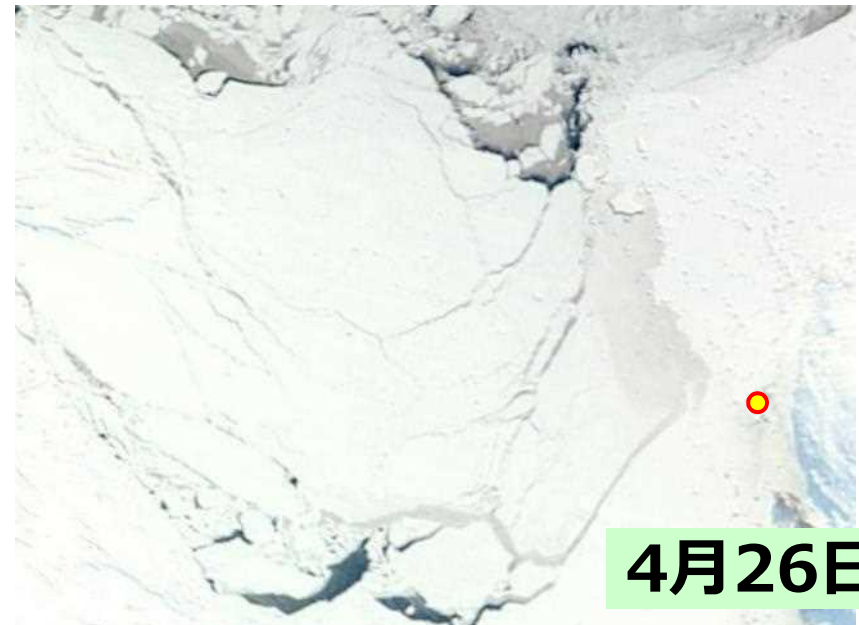
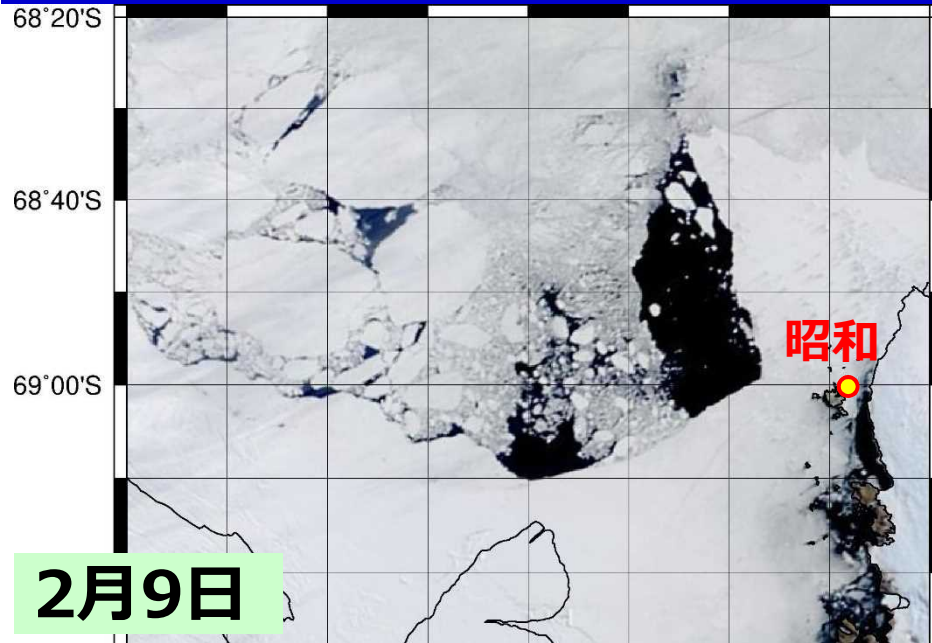
今後も第61次越冬隊による氷状調査結果を共有し、氷状監視を継続する。

昨年2019年8-12月の湾内定着氷の変化（衛星画像）

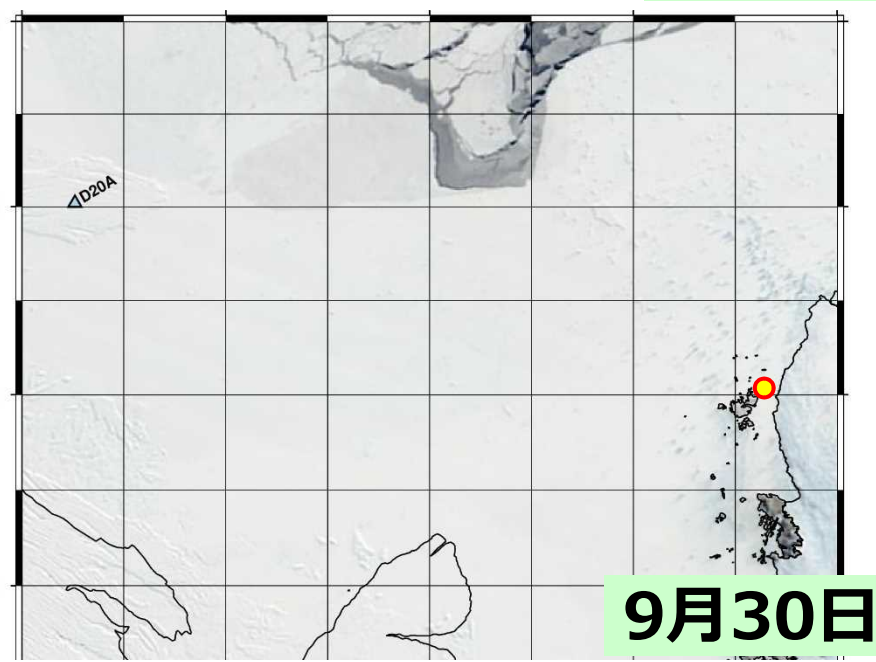
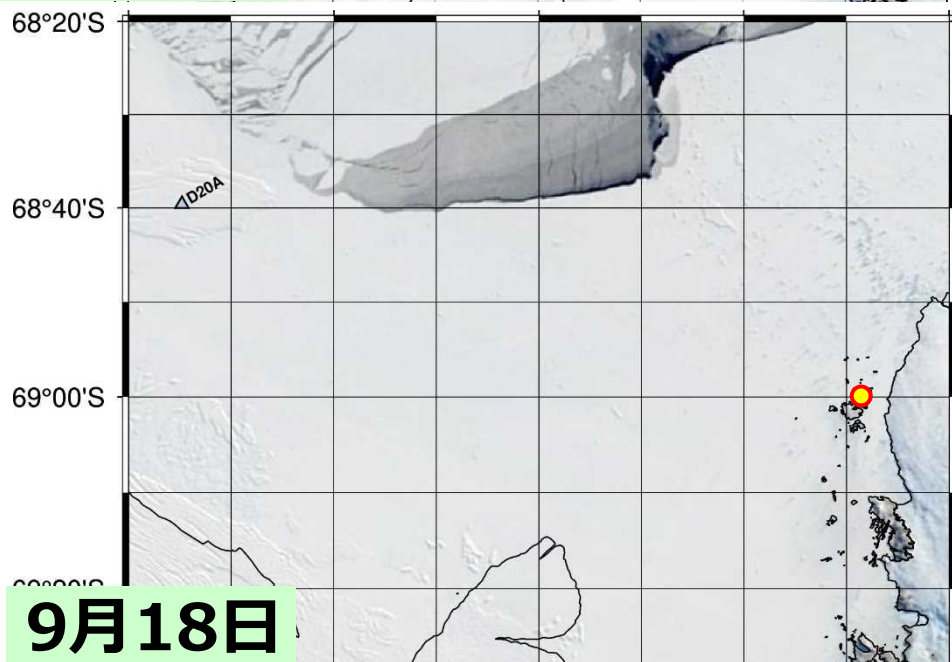
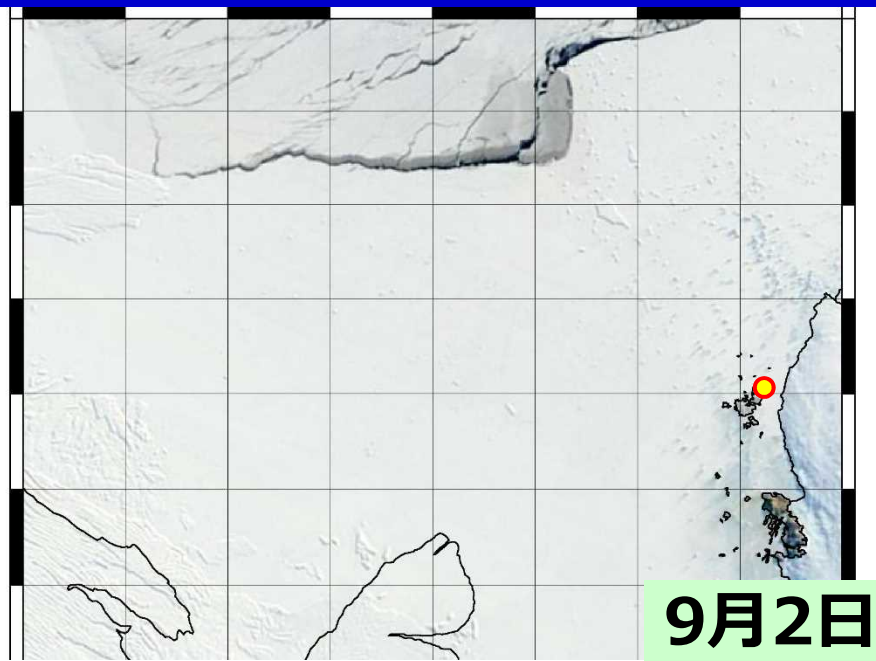
画像上で黒・灰色の部分は開放水面または氷が疎らな海域



2020年2-8月の湾内定着氷の変化（衛星画像）



2020年8-9月の湾内定着氷の変化（衛星画像）



2020年3-7月のオングル海峡の氷状 (61次越冬隊測定)

オングル海峡

3月29日

基地から北東方面

61次「しらせ」接岸点の状況

7/初旬：氷厚112cm, 積雪深31cm

昭和



◆
弁天島

基地の東方、海峡西部の状況

3/30：開水面形成

4/上旬：凍結開始

4/25：氷厚約30cm

5/下旬：氷厚60cm以上

7/初旬：氷厚70cm以上

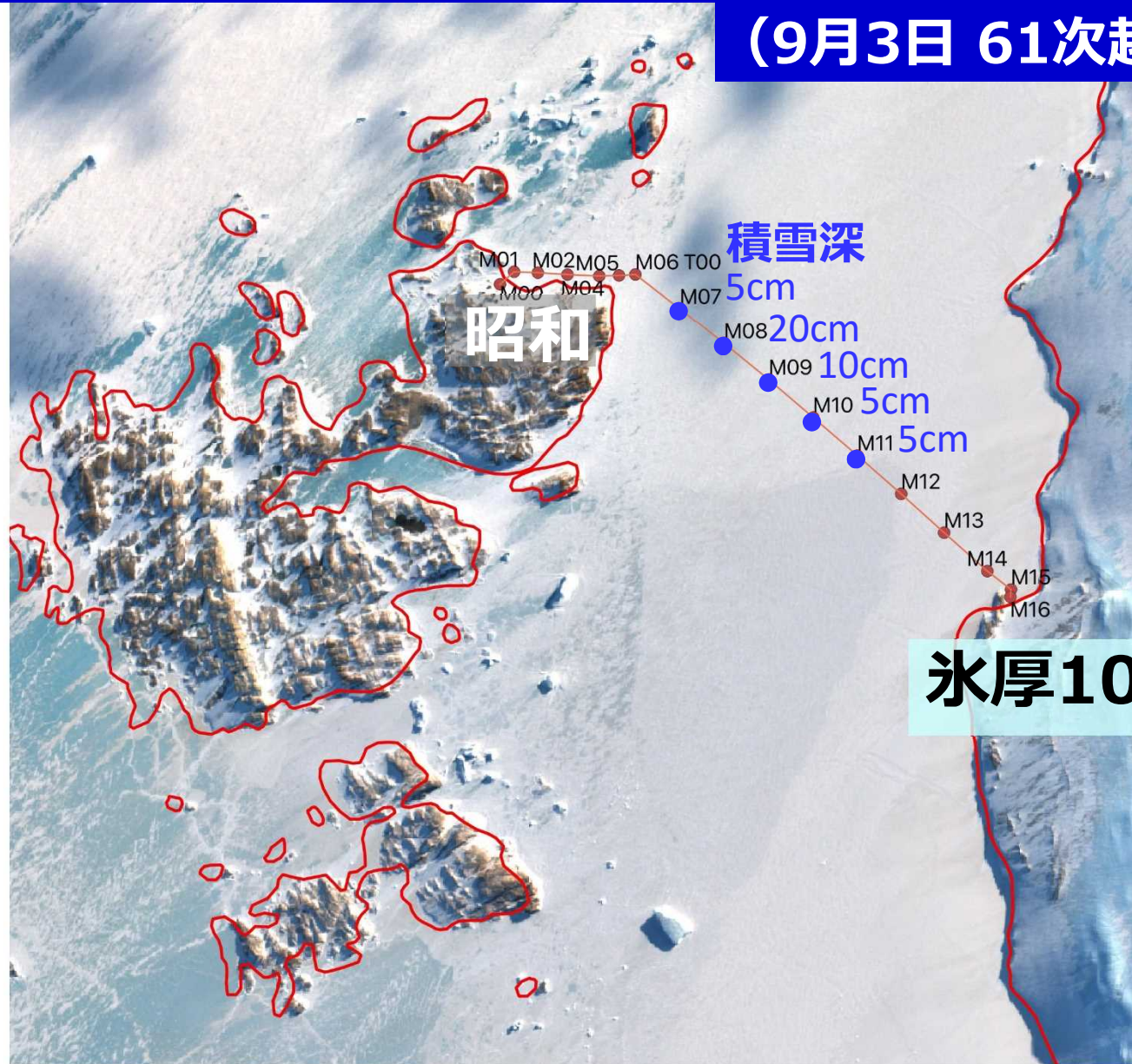
オングル海峡

大陸

衛星画像：2020年4月2日

2020年9月のオングル海峡の氷厚、積雪深

(9月3日 61次越冬隊測定)



衛星画像：2020年9月6日